

三浦半島自然ふれあい楽校 サマースクール 2014

環境カウンセラー養成支援講座 実施報告書

かながわ環境カウンセラー協議会 (KECA)

横須賀三浦支部 高橋 弘二

(三浦半島自然ふれあい楽校)

1. 概要

三浦半島で環境保全・環境学習など環境に係る活動を実践している人たちが多くいるので、ぜひ環境カウンセラーになってもらいたいと、登録申請書類の作成を支援しようと始めたものである。今年で4回目になるが、これまでに数名の市民部門の環境カウンセラーが誕生している。

- 開催日時：2014年7月20日(日) 10時15分～14時20分
- 会場：湘南国際村センター206号室(葉山町)
- 受講者(申込者)：6名(7名)
- 講師：高橋弘二(KECA副理事長、環境教育委員会、横三支部)
中村修二郎(KECA横三支部、第1回受講・合格者、環境教育インストラクター)
大野昌美(KECA環境教育委員会、横浜支部)
今井俊夫(第1回受講・合格者、葉山町、環境教育インストラクター)

2. 事前の連絡・依頼

本講座は、環境カウンセラー登録申請するための応募書類作成を支援することを目的としており、受講者は事前に環境カウンセラーのHPで「平成26年度環境カウンセラー応募要領」をダウンロードし、

- ①「環境保全活動等の経歴の詳細：作成してこること
- ②「課題論文」：テーマを決めて原稿を作成してこるか、骨子をまとめてこること

以上を1週間前、受講者にEメールで依頼した。

3. 講座の内容

KECA環境教育委員会から大野氏(横浜支部)の協力があったが、講座は挨拶をはじめKECA横三支部で実施した。(開催にあたり、KECA環境教育委員会、横三支部会員に協力を要請した)

- (1) 環境カウンセラー制度、かながわ環境カウンセラー協議会について・・・(高橋)

配布資料：①環境カウンセラー(環境省)パンフレット

②KECAリーフレット

③KECAニュース No.52

④横須賀「水と環境」研究会だより No.252(2014.7)

- (2) 環境カウンセラー(個人)／任意団体・NPO／協働・ネットワークの活動・・・(高橋)

パワーポイントで活動事例(高橋)を紹介

- ・環境カウンセラー(個人)の経験・知見を活かすには、仲間と一緒に団体として活動するのが活動しやすく、活動の幅が広がる。さらに団体や行政と一緒に活動する協働事業へ進展させる。
- ・まずは体験参加、自分にある団体・活動であれば、次は企画・運営に参画する。

- (3) 活動事例と登録申請書類作成、面接試験のアドバイス・・・中村、今井、大野

・環境カウンセラー3氏から、現在の環境活動の紹介

- ・自分が登録申請書を作成（特に課題論文）したとき、気をつけたこと
 - ・面接試験での対応、質問されたこと
- などについてアドバイスした。

(4) 登録申請書類作成要領について

①環境カウンセラー登録申請書

- ・環境保全活動等の経歴の概要（140字以内）
次の詳細欄と矛盾しないこと
詳細欄で自分がもっとも力を入れている活動、PRしたい活動を140字以内で書く
- ・特記事項（取得資格、発行著書、委員等の就任、受賞歴等）（80字内）
上記（ ）内のようなもので記載できるものがない場合、80字内でもっともPRしたい事項を書く。

②環境保全活動等の経歴の詳細

- ・活動種別に「参加」「主担当」「管理マネジメント」とあるが、できれば「主担当」に○する。
（例：1年目は「参加」、2年目から「主担当」に○）
- ・活動団体：できれば3つ以上、1つ、2つの場合は、内容を細かく密に

③活動実績証明書

- ・会社、行政、NPOなどは「公印」が必要であり、時間がかかるので早めに
- ・任意団体は、代表者の「印」でよいので、もらいやすい
- ・「証明書」がない場合、任命書、チラシ、新聞、報告書に記載でわかる個所をコピーし添付

④課題論文

- ・自分の経験・知見に基づく提言・考えを述べる
- ・面接での質問は、課題論文に書いた内容についての質問が多いので、その積りで書く
- ・4,000字以内、できれば3,000字くらいは
- ・章だて、段落をつけ、読む人が読みやすいように書く

<午後からは、準備してきた課題論文原稿について>

- ※午前の講義を終えたところで、1名は「課題論文を準備をしてこなかった」、1名は「私にはハードルが高過ぎる」といって帰られた。
- ・午後は、「課題論文原稿を準備してきた」2名と、「要約、骨子だけ準備」の2名について、マンツーマンで対応した。
- ・受講者から論文内容について説明を聞き、質問・議論し、内容の追加などアドバイスした。
- ・講師が交替し、前の講師のアドバイスを受けた原稿内容について、受講者から説明を受け、感想を述べアドバイスした。

【感想】

- (1) 一般の環境活動実践者には、①課題論文の作成、②証明書を必要とする活動経歴というハードルは少し高いのかもしれない。
- (2) 養成支援講座の内容については、受講者にはおおむね好評のようだった。
- (3) 定員は10名だったが、課題論文の指導・アドバイスを実効性のあるものにするには、できれば講師：受講者はマンツーマン（1：1）、少なくとも1：2は必要と考える。
- (4) 課題論文については、その場で（当日）適切・十分な指導・アドバイスは無理なので、依頼があれば登録申請提出までEメールでの指導・添削などを行う予定である。

三浦半島自然ふれあい楽校 サマースクール 2014

環境カウンセラー養成支援講座 写真集

- 開催日時：2014年7月20日（日）10時15分～14時20分
- 会場： 湘南国際村センター206号室 （葉山町）

